



頭に浮かんだアイデアを夢中になって理想のものへと作りあげる楽しさ。
とても身近で唯一無二の素材「木」を使ったものづくりの楽しさを凝縮した
JOYFULHONDAmagVol.17スペシャルムービーです！



株式会社ジョイフル本田（証券コード3191）

2021年2月5日

新型コロナウイルスに感染し、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆さまに謹んでお悔やみ申し上げます。

また、罹患されている方々が、一日も早く回復されますよう心よりお祈りを申し上げます。

さらに、医療従事者・行政当局をはじめとする感染症拡大抑止にご尽力されている皆さまに、深く感謝申し上げます。

目次

- 1. 21/6期 上期決算内容**
2. 21/6期 通期業績&配当予想
3. 重点方針と実行施策の進捗状況
4. ESGの取り組み
5. 付属資料

実質比較ベースによる業績比較

- 20/6期4Qにグループ内組織再編とガソリン・灯油事業の譲渡を実施
- 3期分を同じ業績範囲で比較するため、赤線枠内の実質比較ベースを用いる

業績比較	19/6期	20/6期	21/6期
ジョイフル本田 (当社)	ガソリン・灯油 部門あり	ガソリン・灯油 部門あり	ガソリン・灯油 部門なし
リフォーム (当社リフォーム事業部)	①	②	③
アート・クラフト (当社アート・クラフト事業部)			
車検・整備・タイヤ(非連結子会社) (株)ジョイフル車検・タイヤセンター			
スポーツクラブ(非連結子会社) (株)ジョイフルアスレティッククラブ			

※上記①②は、決算短信上の数値とは異なる、一方、③は決算短信上の数値と一致

21/6期上期決算のポイント

1) 上期の上場来最高益

- 特需(消費増税、台風)がなかった19/6期比で約4割の営業増益

2) 売上高総利益率の改善

- 戦略的商品ミックス(住まいと生活)推進
- コロナ関連(感染対策&在宅)需要への積極対応
- マーチャンダイジング(MD)施策強化

3) オペレーション合理化が奏功

- 新たな営業スタイル(時短営業、販促手法進化)
- IT活用で業務効率化推進
- 本部管理機能の統合・スリム化推進

上期決算の3期推移(損益計算書)

- 増益継続、前期の特需(増税、台風)から「コロナ下の新たな必需」を取り込む
- 住宅リフォームのニーズ高まるも、工事先送りで減収(リフォーム▲13億円)

※コメント欄に記載の金額(億円)は、千万円単位を四捨五入、以下の頁も同じ。 単位:百万円、%、()内は売上高比率

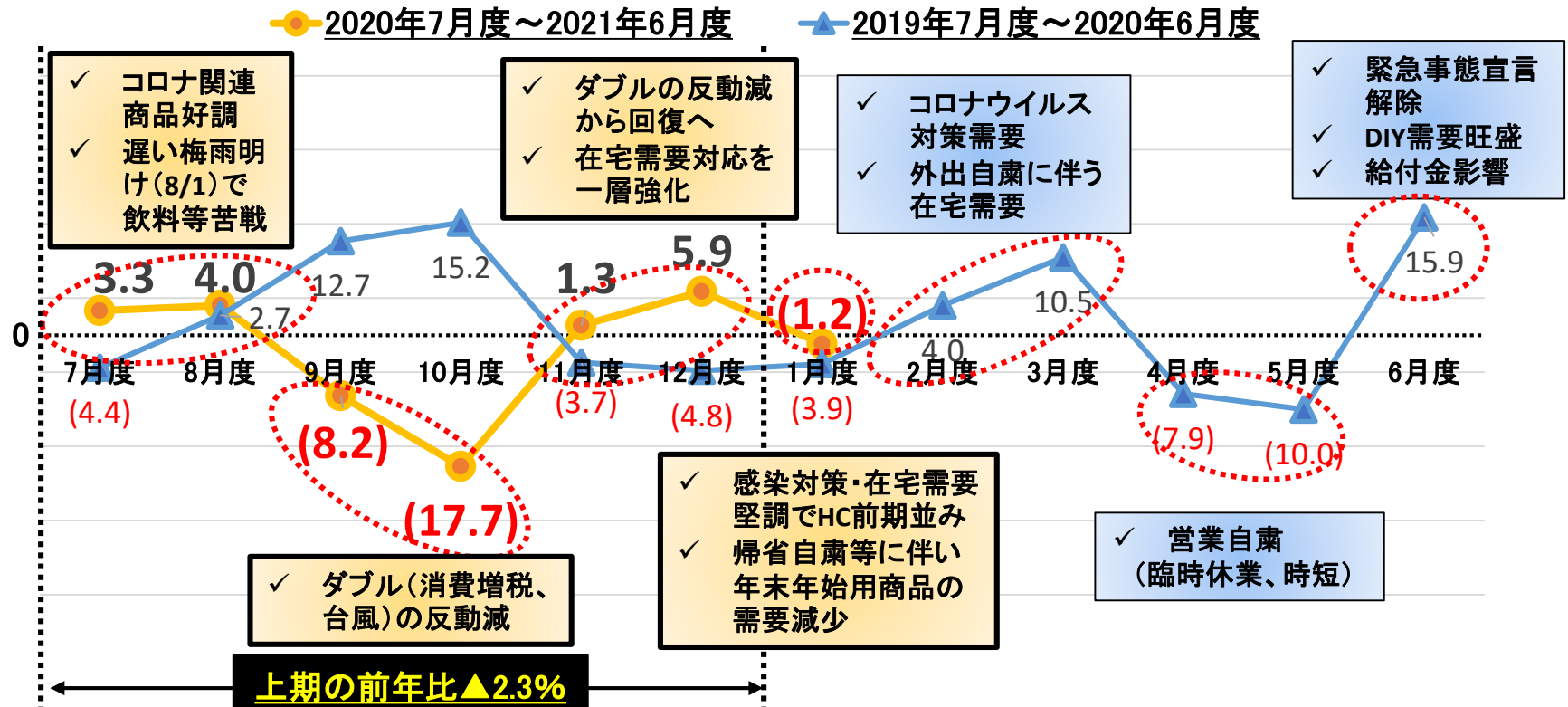
業績比較	①	②	③	19/6期比		20/6期比	
	19/6期	20/6期	21/6期	金額	%	金額	%
売上高	73,469 (100.0%)	74,548 (100.0%)	67,140 (100.0%)	▲6,328	91.4%	▲7,408	90.1%
売上総利益	19,968 (27.2%)	20,802 (27.9%)	20,868 (31.1%)	+900	104.5%	+66	100.3%
営業収入	2,672 (3.6%)	2,687 (3.6%)	2,669 (4.0%)	▲2	99.9%	▲17	99.3%
営業総利益	22,640 (30.8%)	23,489 (31.5%)	23,538 (35.1%)	+898	104.0%	+49	100.2%
販管費	18,458 (25.1%)	17,930 (24.1%)	17,801 (26.5%)	▲657	96.4%	▲128	99.3%
営業利益	4,181 (5.7%)	5,558 (7.5%)	5,736 (8.5%)	+1,555	137.2%	+178	103.2%
経常利益	4,841 (6.6%)	6,073 (8.1%)	6,238 (9.3%)	+1,397	128.9%	+165	102.7%
四半期純利益	1,491 (2.0%)	3,756 (5.0%)	4,047 (6.0%)	+2,556	271.4%	+290	107.7%
売上高(G・灯油除く)	66,962	68,694	67,140	+178	100.3%	▲1,554	97.7%

売上高月次推移(全店、ガソリン・灯油除く)

- 上期はコロナ関連商品が一貫して好調継続
- ダブルの反動減から直近では回復基調

単位:%

前年同月比(20日締)



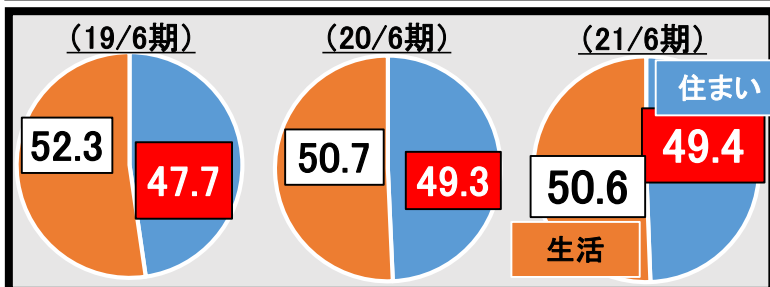
※公表のとおり、2020年3月度までは5社連結ベース、それ以降は実質比較ベースの前年同月比

※今期も営業時間の1時間短縮は継続(単純時間換算で1ヶ月あたり▲約3日分)、一部店舗では資材館の早朝営業を再開

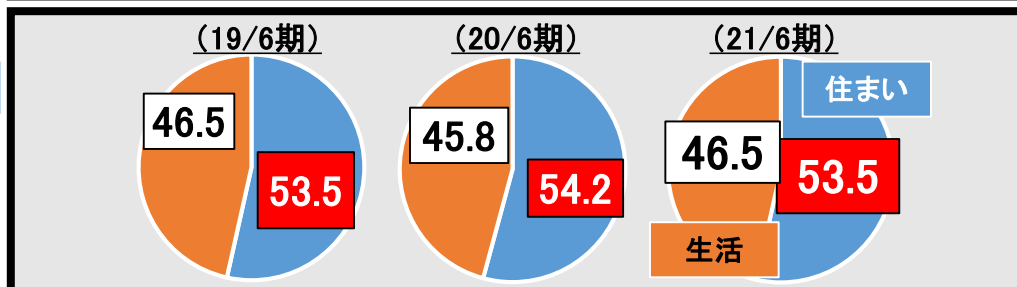
商品分野別売上高 & 売上総利益 (ガソリン・灯油除く、上期)

- 戦略的商品ミックスを推進、利益率の高い住まいの分野が増益に寄与
- 「コロナ下での新たな必需」に対応して積極的に高付加価値商品を投入

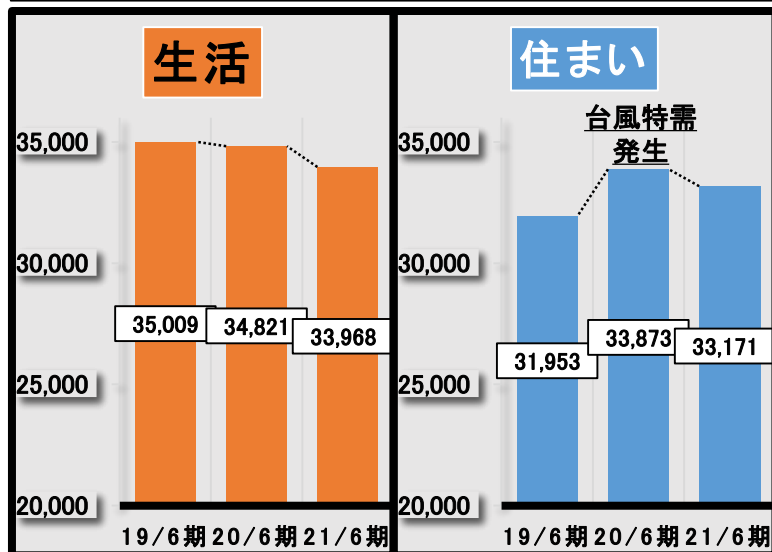
売上高 構成比 (%)



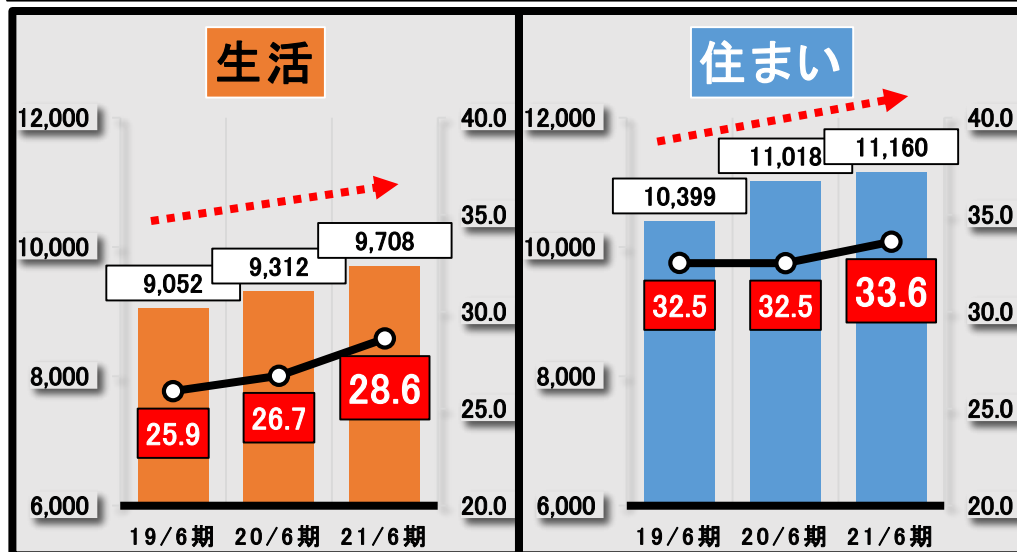
売上総利益 構成比 (%)



売上高 (百万円)

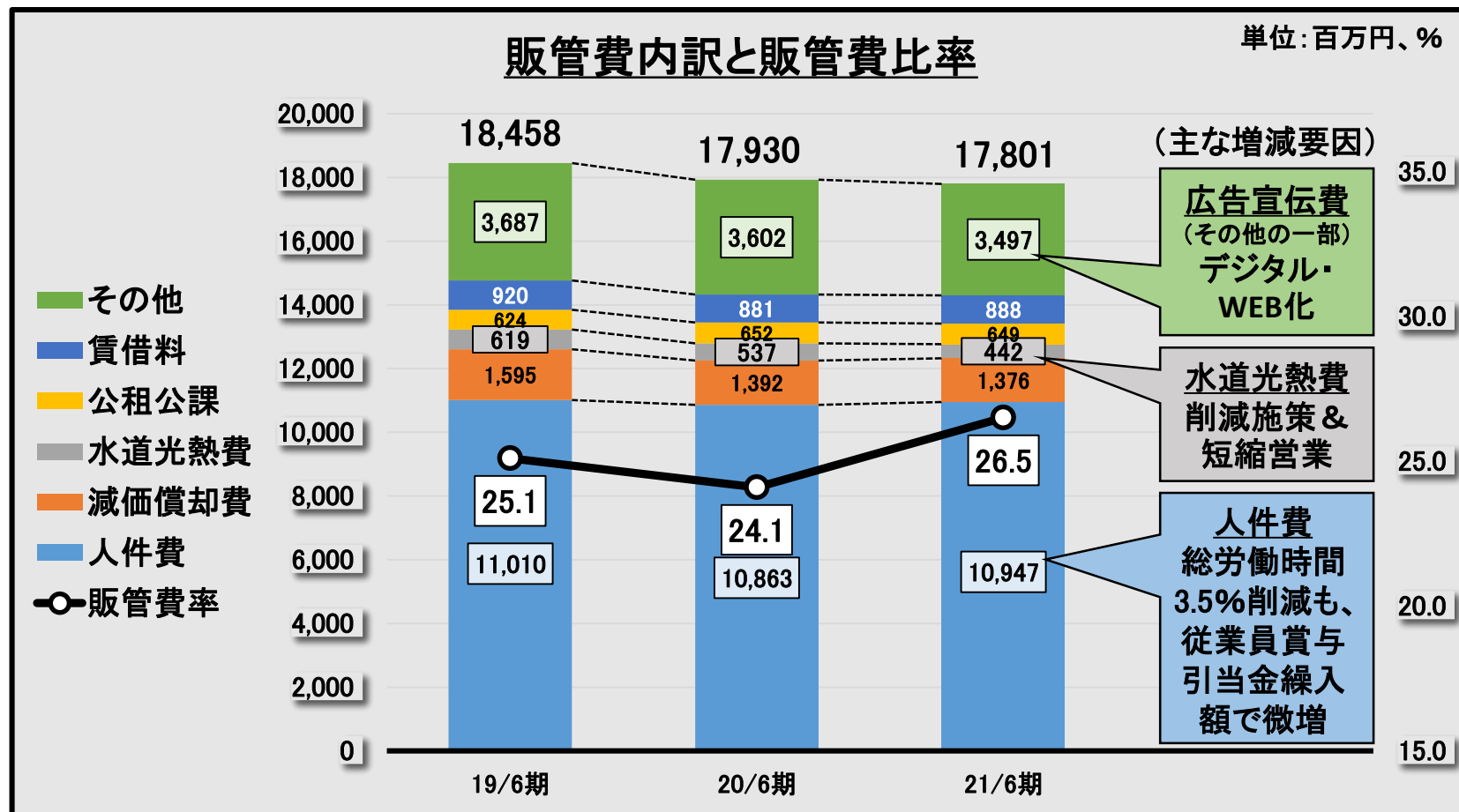


売上総利益 (売上高総利益率) (百万円、%)



販管費(上期)

- コロナを契機に見直した営業スタイル下で削減すべきコストを明確化
- 広告宣伝費はデジタルシフト加速、総労働時間は業務効率化推進で削減継続



※設備投資及び減価償却費(通期予想含む)、キャッシュフローは29頁に掲載

目次

1. 21/6期 上期決算内容
- 2. 21/6期 通期業績&配当予想**
3. 重点方針と実行施策の進捗状況
4. ESGの取り組み
5. 付属資料

業績予想(下期)

- ガソリン・灯油を除く売上高は前期並み、コロナ関連需要は継続と予想
- 売上高総利益率は上期並み、販売手数料増で営業収入増加、コスト削減継続

単位:百万円、%、()内は売上高比率

下期 (実質比較ベース)	19/6期 実績	20/6期 実績	21/6期 予想	19/6期比		20/6期比	
				金額	%	金額	%
売上高	71,814 (100.0%)	70,150 (100.0%)	65,059 (100.0%)	▲6,755	90.6%	▲5,090	92.7%
売上総利益	19,953 (27.8%)	20,544 (29.3%)	20,231 (31.1%)	+277	101.4%	▲313	98.5%
営業収入	2,710 (3.8%)	2,554 (3.6%)	2,730 (4.2%)	+19	100.7%	+175	106.9%
営業総利益	22,664 (31.6%)	23,099 (32.9%)	22,961 (35.3%)	+297	101.3%	▲138	99.4%
販管費	18,481 (25.7%)	18,881 (26.9%)	17,698 (27.2%)	▲783	95.8%	▲1,183	93.7%
営業利益	4,182 (5.8%)	4,218 (6.0%)	5,263 (8.1%)	+1,080	125.8%	+1,045	124.8%
経常利益	4,826 (6.7%)	4,834 (6.9%)	5,661 (8.7%)	+834	117.3%	+826	117.1%
四半期純利益	3,307 (4.6%)	※1 7,239 (10.3%)	3,852 (5.9%)	+544	116.5%	▲3,386	53.2%
売上 (G・灯油除く)	64,707	65,185	65,059	+352	100.5%	▲126	99.8%

※1 前期の四半期純利益には特殊要因(抱合せ株式消滅差益等)を含む。

業績予想(通期)

- 営業利益(110億円)、経常利益(119億円)ともに上場来最高益を見込む
- ガソリン・灯油を除く売上高は上期のマイナス分(16億円)を持ち越し

単位:百万円、%、()内は売上高比率

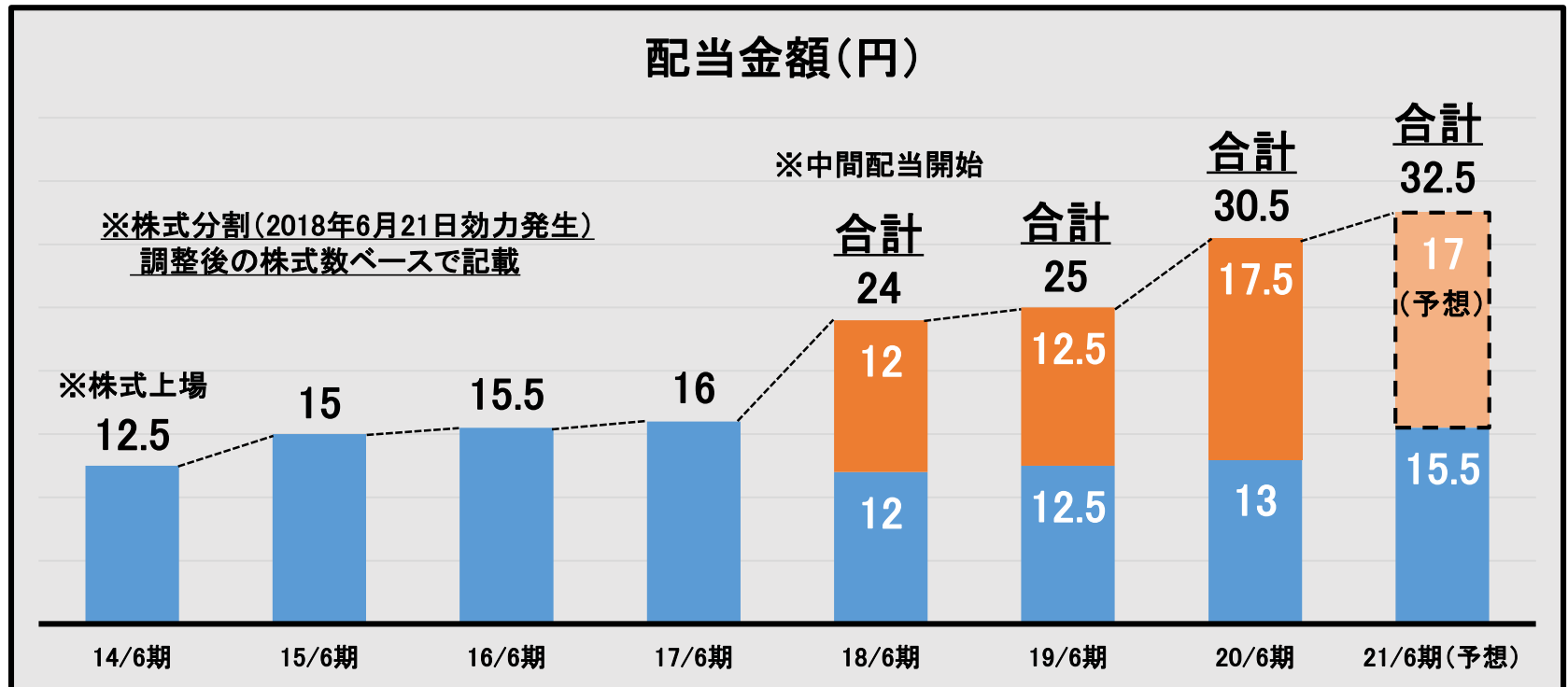
通期 (実質比較ベース)	19/6期 実績	20/6期 実績	21/6期 予想	19/6期比		20/6期比	
				金額	%	金額	%
売上高	145,284 (100.0%)	144,698 (100.0%)	132,200 (100.0%)	▲13,084	91.0%	▲12,498	91.4%
売上総利益	39,921 (27.5%)	41,346 (28.6%)	41,100 (31.1%)	+1,178	103.0%	▲246	99.4%
営業収入	5,382 (3.7%)	5,241 (3.6%)	5,400 (4.1%)	+17	100.3%	+158	103.0%
営業総利益	45,304 (31.2%)	46,588 (32.2%)	46,500 (35.2%)	+1,195	102.6%	▲88	99.8%
販管費	36,940 (25.4%)	36,811 (25.4%)	35,500 (26.9%)	▲1,440	96.1%	▲1,311	96.4%
営業利益	8,364 (5.8%)	9,776 (6.8%)	11,000 (8.3%)	+2,635	131.5%	+1,223	112.5%
経常利益	9,668 (6.7%)	10,908 (7.5%)	11,900 (9.0%)	+2,231	123.1%	+991	109.1%
当期純利益	4,799 (3.3%)	10,996 (7.6%)	7,900 (6.0%)	+3,100	164.6%	▲3,096	71.8%
売上高 (ガソリン・灯油を除く)	131,669	133,880	132,200	+530	100.4%	▲1,680	98.7%

配当予想

- 中間配当(決定額15.5円)と期末配当(予想額17円)で年間合計額32.5円
- 上場来7期連続増配を予定

【配当方針と配当水準】

株主資本に応じた株主への安定した利益還元を継続的に行うことを基本方針とし
DOE(株主資本配当率)2%を目安に利益還元の維持・向上に努める



※13/6期の配当金額は5円

目次

1. 21/6期 上期決算内容
2. 21/6期 通期業績&配当予想
- 3. 重点方針と実行施策の進捗状況**
4. ESGの取り組み
5. 付属資料

21/6期の基本方針

「エッセンシャルワークを、全ての人を支える」

➤ お客様に集中できる環境の整備

- ✓ 店舗組織統一、人員稼働計画整備、オペレーション改革

➤ 社員の成長を支える仕組みづくり

- ✓ キャリア形成と専門的スキルの向上に資する教育の充実

➤ 新人事制度の整備

- ✓ 年功的な処遇からの脱却、役割と連動した公平性の高い処遇へ

現場従業員を支える体制と制度の整備充実を図る

21/6期の重点方針と実行施策

コロナ下や自然災害が頻発する中においても
「収益構造改革」を断行し、
将来の成長に資する「投資」を推進する

3つの大きな柱

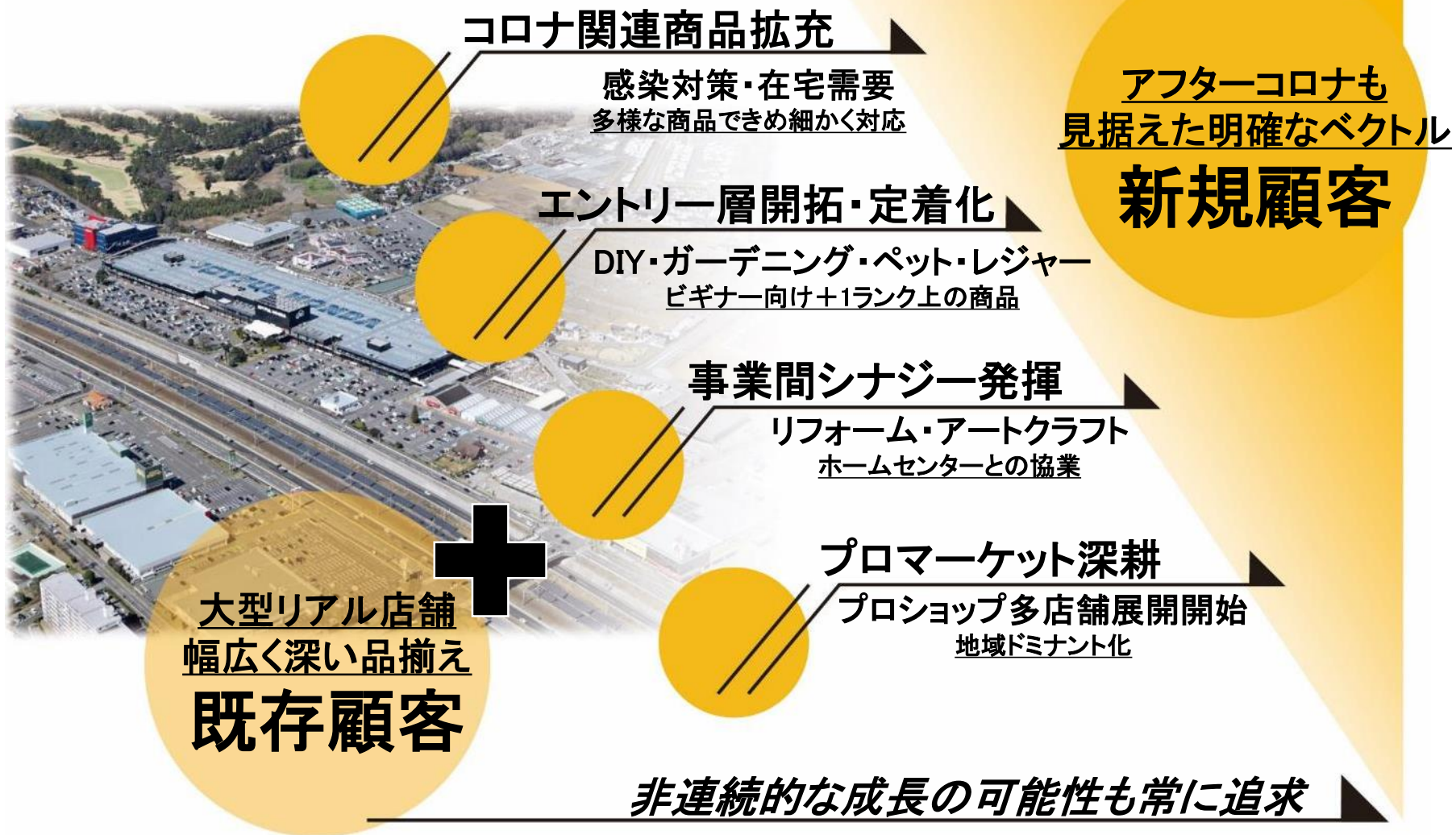
1) マーチャンダイジングの強化

2) コストコントロールの最適化

3) 新店と既存店への積極投資

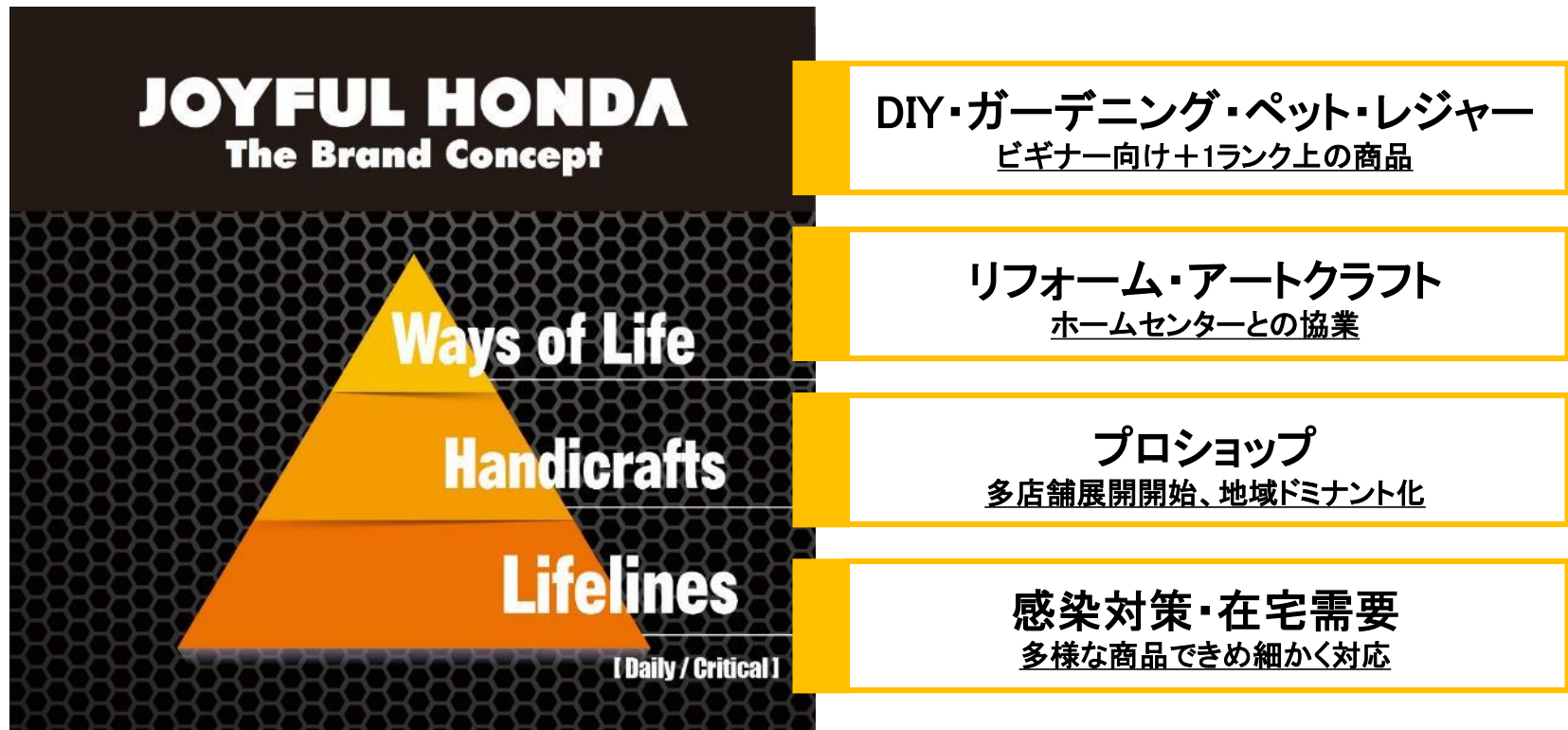
1) マーチャンダイジングの強化 1/4

潜在マーケットの開拓・深耕を具体化



1) マーチャンダイジングの強化 2/4

ブランドコンセプトに基づく商品・提案の拡充



新たな価値観(制約のある中でも生活を豊かにしたいという想い)
に
応えるワンランク上の商品と提案型売場の拡充を推進

お客様の成功体験とステップアップを継続的にサポート

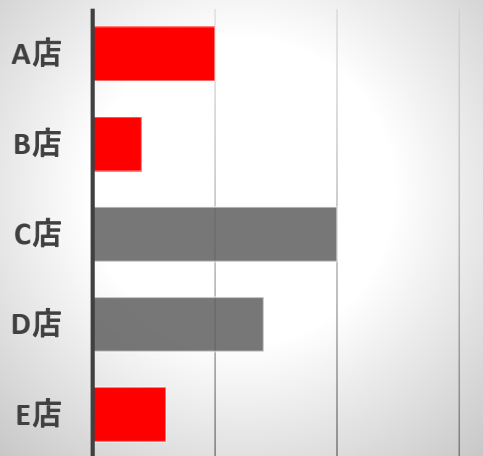
1) マーチャンダイジングの強化 3/4

MD施策の実行力強化で利益を底上げ

【Before】

店舗裁量での展開
⇒販売数量重視で
店舗間格差生じる

粗利益高



店舗と本部が連動

商品部

幅広く深い品揃えの中から
1ランク上の推奨商品を定期的を選定

スーパーバイザー

成功事例共有・MD施策推進

営業企画部

販促・広告一元管理

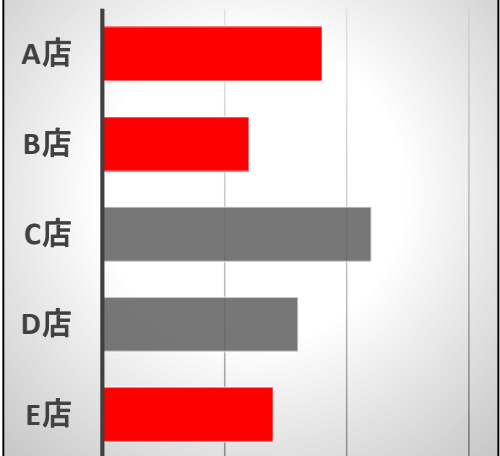
店舗

提案型売場づくり
定期的な改廃で鮮度維持

【After】

売りに専念できる体制
⇒粗利益高重視で
店舗間格差が縮小

粗利益高



1) マーチャンダイジングの強化 4/4

環境変化に即して顧客利便性向上を推進

決済手段多様化への対応

JOYFUL HONDA

使える決済手段続々!



こちらの電子マネーもお使い頂けます!

地域交通と連携した買物支援

上三川町 かもたん号

お電話で簡単予約! 利用が簡単! ドアtoドアで便利!

予約センター **0120-272-315**

JOYFUL HONDA 宇都宮店

JOYFUL HONDA

送迎乗合いタクシー「ラクシー」との提携ははじめました!

明和町在住の方対象

「ラクシー」は、利用者の自宅から目的地まで、予約して利用する送迎乗合いタクシーです。若い物・足軽車種に課題を抱える高齢者の送迎支援手段として、地域自治体・福祉系団体とつながる事業として2023年10月より買物支援を開始しました。

予約センター **0120-272-315**

JOYFUL HONDA 宇都宮店

ご利用方法お問い合わせは
明和町社会福祉協議会 ☎0276-84-4013
受付時間 8:30~17:15 (定休日: 祝日)
その他詳しくは下記ラクシーホームページにてご確認ください。
<https://www.gttoyota.co.jp/raxi>

ジョイフル本田併設出光ガソリンスタンドにて「会員優待価格適用」でのご利用が可能に!

最強の法人カード

ジョイフル本田史上

新規会員募集中!

ジョイフル本田法人カードの特典

年会費 永年無料

2.0% 値引き

50万円~1,000万円

無金利

分割払い

2回分割 無金利
3回~24回分割 (有金利)

返金払い 無金利
返金払い 6ヶ月後一括払い (有金利)

幅広い年齢層と法人需要の取り込み強化⇒サービス進化継続

2)コストコントロールの最適化 1/2

オペレーション改革で接客重視の環境整備

IT活用等による店舗業務の効率化施策

➤ 売場業務

- ✓ 業務用スマホ導入
- ✓ 商品マスター適正化
- ✓ 棚割リシステム導入

➤ 販促業務

- ✓ 本部一括管理
- ✓ 紙からデジタル・WEBへ
- ✓ デジタルサイネージ全店導入

➤ レジ業務

- ✓ レジの統合集約化
- ✓ 非接触も意識した作業改善

➤ 人員計画と教育

- ✓ 動画マニュアル導入
- ✓ 人員稼働計画の適正化

接客に集中できる体制へ

2)コストコントロールの最適化 2/2

できる限り小さな本社の確立を目指す



- 勤怠・会計システムの統合
- 本部管理業務(経理、人事・総務)の集約化
- 働き方改革、本部のテレワークの推進

今期中に本部機能(管理面)統合へ

3) 新店と既存店への積極投資

- 大型店とプロショップで地域ドミナント化
- 既存店改装による「個店経営 × 標準化」の推進



目次

1. 21/6期 上期決算内容
2. 21/6期 通期業績&配当予想
3. 重点方針と実行施策の進捗状況
- 4. ESGの取り組み**
5. 付属資料

生涯フィットネスを通じた地域社会への貢献



1986年創業
99店舗を展開



ジョイフルアスレティッククラブ
JOYFUL ATHLETIC CLUB

1985年創業
4店舗を展開



※各企業の店舗数にはFC(フランチャイズ)の店舗を含む。



当社保有の株式会社ジョイフルアスレティッククラブ(非連結子会社)の株式67%を株式会社THINKフィットネスに譲渡予定(2月2日公表)⇒地域に貢献するフィットネスクラブとしてシナジー創出を目指す

譲渡会を通じて犬猫保護団体の活動を支援



※ペットクローバー東大宮店(ペット単独店)での譲渡会の様子



※瑞穂店での譲渡会の様子

当社は、保護犬・保護猫との出会いの場づくりに豊富な実績を持つ一般社団法人RENSA、ペット保険のSBIプリズム少額短期保険株式会社とともに、保護犬猫の譲渡会の活動支援を始めました。



具体的な支援内容は、譲渡会を開催する場所(当社店舗施設)の提供や開催の告知、当日の運営補助などです。
様々な理由で飼い主にめぐりあえない不幸なワンちゃん、猫ちゃんを1頭でも減らすことを願って、当社はこれからも犬猫保護活動に協力してまいります。



※上記2枚の写真はイメージです。

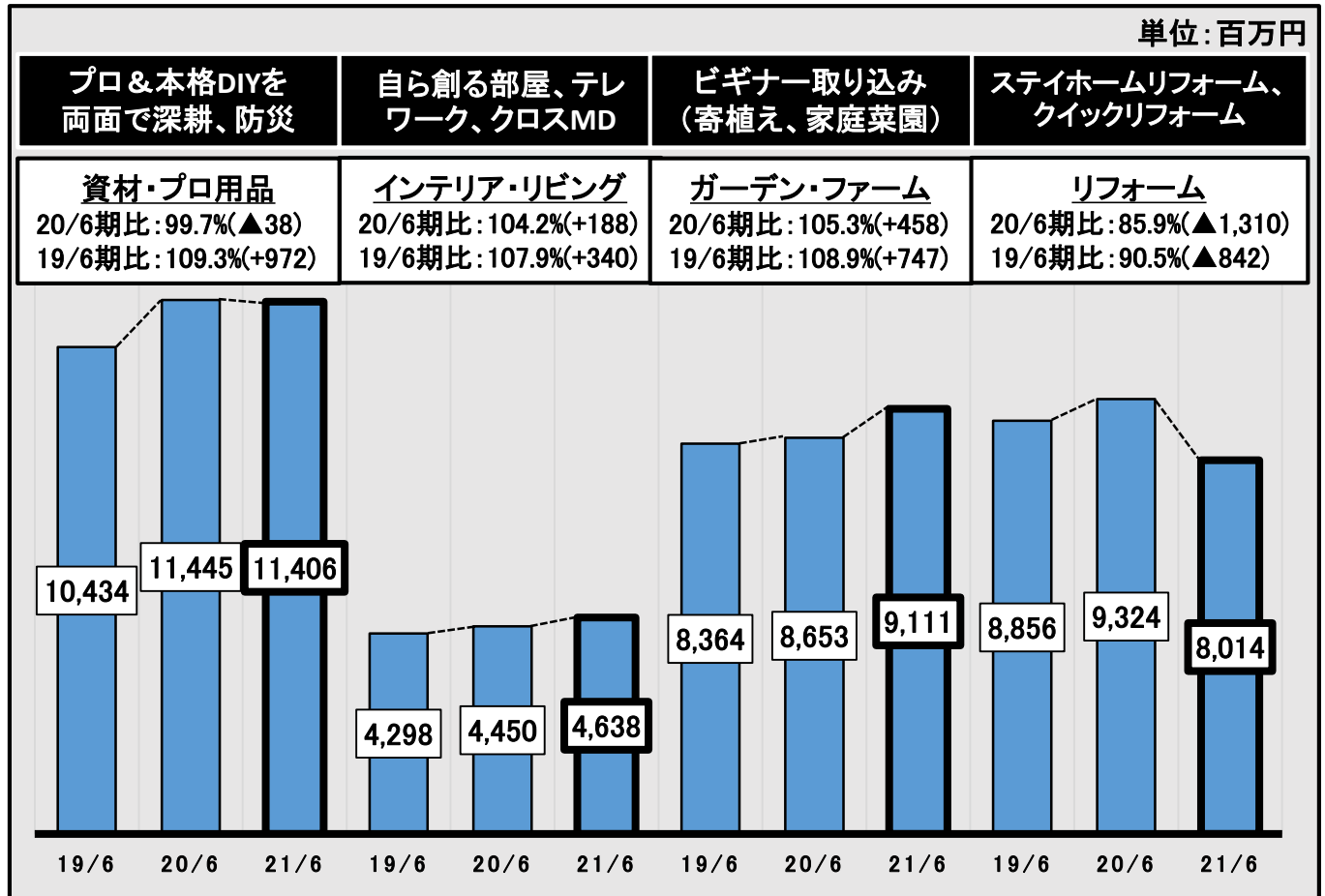
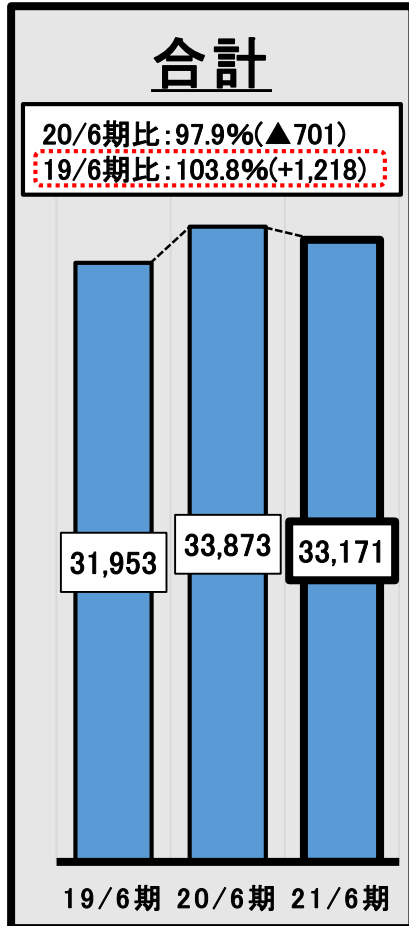
地域社会への貢献活動にも注力

目次

1. 21/6期 上期決算内容
2. 21/6期 通期業績&配当予想
3. 重点方針と実行施策の進捗状況
4. ESGの取り組み
- 5. 付属資料**

商品グループ別売上高(住まいの分野、上期)

- 特殊要因のなかった19/6期比で合計12億円の増収、DIY・ガーデン好調継続
- リフォームは徐々に回復(前期比で1Qは8掛け、2Qは9掛け)

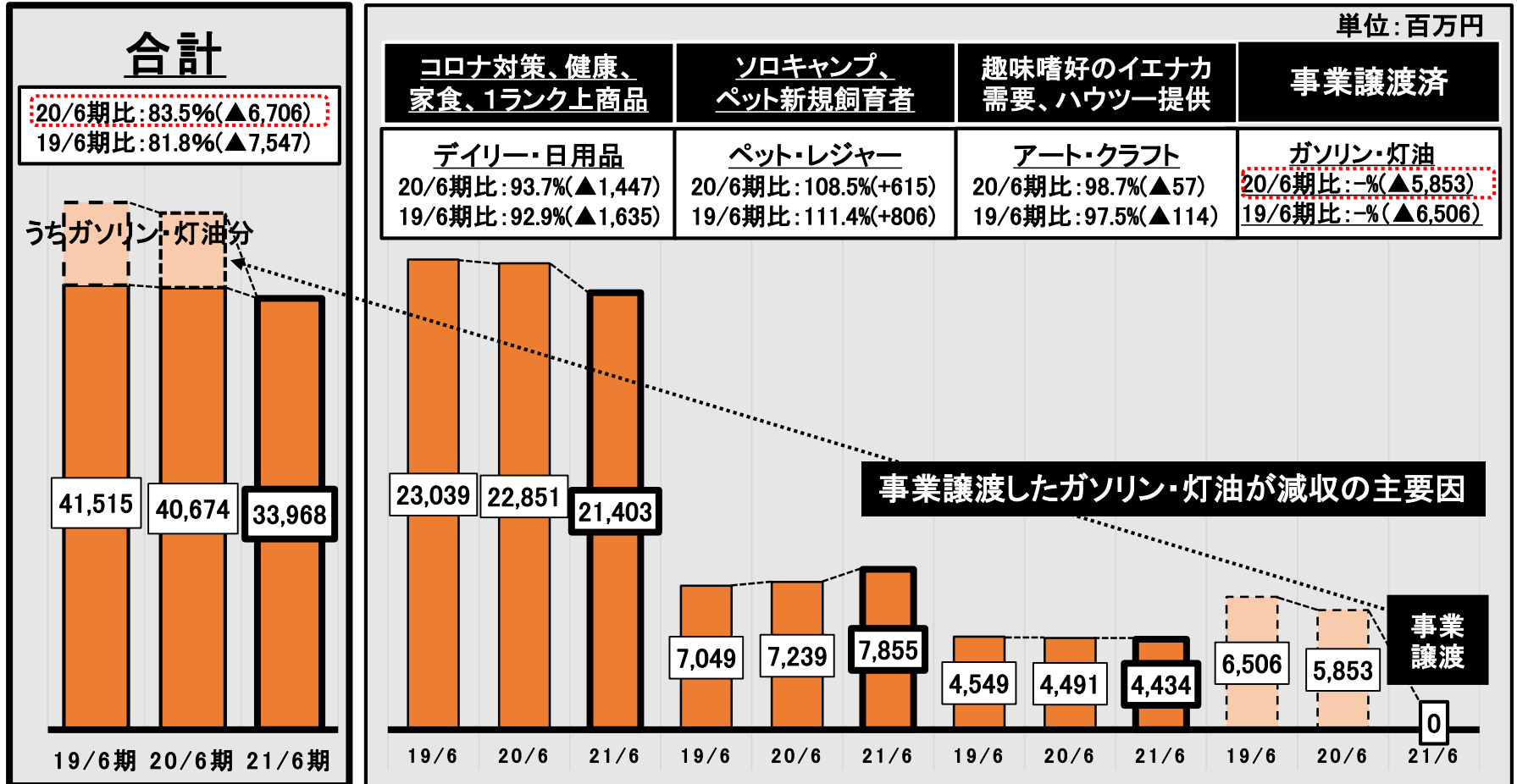


※21/6期期初より商品グループの括りの見直しを実施

取り組み中の施策(快適な暮らしの為の商品提案)のキーワード

商品グループ別売上高(生活の分野、上期)

- デイリー・日用品は消費増税の反動減でマイナス
- マスク等感染対策商品は安定供給で好調維持、ペット・レジャーも続伸



※21/6期期初より商品グループの括りの見直しを実施

取り組み中の施策(快適な暮らしの為の商品提案)のキーワード

設備投資及び減価償却費、キャッシュフロー(上期)

1. 設備投資及び減価償却費

単位:百万円

	実績			コメント	通期予想
	19/6期	20/6期	21/6期		21/6期
設備投資	1,987	1,175	851	<ul style="list-style-type: none"> ・IT投資(会計パッケージ導入、デジタルサイネージ全店導入、モバイル発注システム導入) ・暑さ対策(空調設備増設) ・テナントエリア改装、建替え(ニューポートひたちなか店での大規模リニューアル等) 	3,310
減価償却費	1,595	1,392	1,376	・減価償却費は漸減	2,877

2. キャッシュフロー

単位:百万円

	19/6期	20/6期	21/6期	主な内訳(単位:億円)
営業活動によるCF	7,882	6,802	5,249	<ul style="list-style-type: none"> ・税引前四半期純利益+59 ・仕入債務の増加+25 ・たな卸資産の増加▲23、法人税等の支払▲22
投資活動によるCF	▲3,579	2,996	2,697	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の売却収入+28 ・定期預金の払戻収入+10
財務活動によるCF	7,030	▲3,818	▲3,512	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金の返済支出▲22 ・配当金の支払額▲12
現金及び現金同等物の増減額	11,333	5,980	4,435	上記CFの合計
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,097	33,077	42,310	現金及び現金同等物の増加分を反映

貸借対照表

単位:百万円

	20/6期 上期末 A	20/6期 期末 B	21/6期 上期末 C	前年 同期末比 C-A	前期末比 C-B	コメント (対前期比)	
資産の部	流動資産	57,688	57,996	63,641	+5,953	+5,645	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ関連商品の積極展開も、在庫コントロールにより前年同期末比で商品在庫削減 ・投資有価証券の売却で固定資産が減少 ※前年同期末比減少分には減損損失(稲城の出店取り止め)含む
	現金及び預金	35,110	38,906	42,348	+7,237	+3,441	
	売掛金	3,235	3,059	3,445	+209	+385	
	商品 ※1	18,192	14,527	16,791	▲1,400	+2,264	
	固定資産	106,298	99,769	95,745	▲10,553	▲4,023	
	資産合計	163,987	157,766	159,387	▲4,599	+1,621	
負債・純資産の部	流動負債	24,352	21,717	22,731	▲1,621	+1,014	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金の約定返済で固定負債が減少 ・配当指標である株主資本は増加
	買掛金	11,200	7,356	9,812	▲1,388	+2,455	
	短期借入金	0	0	0	0	0	
	1年内返済予定の長期借入金	4,397	4,397	4,397	0	0	
	固定負債	31,841	29,831	27,745	▲4,095	▲2,085	
	長期借入金	22,935	20,741	18,542	▲4,393	▲2,198	
	負債合計	56,194	51,548	50,477	▲5,717	▲1,071	
	株主資本合計	106,946	104,859	107,690	+743	+2,830	
	純資産合計	107,792	106,218	108,910	+1,118	+2,692	
	負債・純資産合計	163,987	157,766	159,387	▲4,599	+1,621	

※1 商品には、仕掛品、未成工事支出金、未着品、原材料及び貯蔵品を含む。

免責事項

将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、2021年2月2日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果がある点を確認された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。